

第32回総会テーマは こばえちゃITの~

あいてえ

ホームページ制作・デザイン：太田良弘（70回卒）



題字は初代会長 故田倉八郎氏筆

第32号

発行 東京鶴翔同窓会
 発行人 小花吉彦（64回）
 編集人 中村 愷（64回）
 事務局 荘内銀行 東京支店内
 〒101-0047
 東京都千代田区内神田2-16-9
 TEL.03-3256-8911

明日の文化をひらく総合印刷
鶴岡印刷株式会社
 〒997-0028
 山形県鶴岡市山王町14-24
 TEL.0235(22)3080(代)
 平田 正(53回)

あちこちのリンク集を開いて淋しい思いをしていた方、中には友達と話してて肩身の狭い思いだった方、わが東京鶴翔同窓会のホームページが開設されました。

第32回総会テーマに「IT」の文字を使って以来、ホームページ開設に尽力して下さったのは、東京鶴翔同窓会の役員会、事務局。中でも、70回卒の太田良弘氏を中心とした有志の方々でした。

ホームページは、みんなが力を合わせて育てていくものです。総会の案内はもちろんのこと年度別ホームページも作成できるようですし、クラス会連絡に利用出来るクラス別掲示板なども用意されています。本部情報を見るだけでなく、投稿欄などを充分活用して親睦をはかってもらいたいものです。

第32回 東京鶴翔同窓会のご案内

日時：平成14年6月15日(土)
 13:00 ~ 15:30 (受付開始12:20)

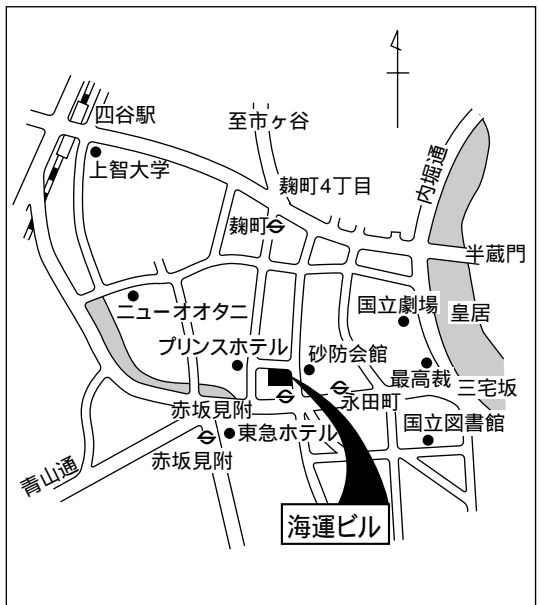
場所：日本海運倶楽部二階大広間
 千代田区平河町2-6-4 海運ビル
 電話 03(3264)1825

地下鉄 (有楽町線、半蔵門線、南北線) 永田町駅1分
 (銀座線、丸の内線) 赤坂見附駅5分

会費：一般会員 8,000円
 高齢会員(48回卒以前) 4,000円
 [なお、介護の同伴者は無料]
 大学・専門学校会員 4,000円
 他に東京鶴翔同窓会年会費、一口1,000円以上

出欠の返事

出欠の返事は6月5日(水)までに同封のハガキにてお願いします。



『厳しい時代だからこそ』

桜井 文子

東京鶴翔同窓会会長

(63回卒)

東京鶴翔同窓会員の皆さま、お元気でいらっしゃいますか。

新しい世紀を迎えた喜びと期待を胸に、皆さまと帝国ホテルで乾杯を合せてから、早くも一年が経ってしまいました。その間、とても信じられないような事態が、世界で、日本で、そしてわが郷土で、次から次と起こってきました。世紀末の閉塞感とはまた別の絶望感があらゆるところに氾濫しております。二十一世紀とは、発展の世紀ではなく、反省の世紀になるのでしょうか。社会構造も、政治構造も、経済構造も、すべて変革を迫られているように思えます。ここで頑張つて積年のウミを出せば、快方に向かうのでしょうか。こんな厳しい時代だからこそ、



人と人とのつながりを大事にしたいと思えます。泣く子

とITには勝てないご時世になって、人との付き合いも様変わりしてきました。あらゆる情報が瞬時

に世界を駆けめぐり、距離感が無くなってきました。相手の顔も見ず、声も聞かず、筆跡も知らずにコミュニケーションできる時代になったのです。効率、スピード、省力の面でこんな便利なものはありません。しかし、その一方で、人間関係が希薄になっていくのではないかという危惧をどうしても拭い切れません。顔と顔を合わして、ときには肩や手にさわったりしての付き合いがとても貴重に思えてきます。

そこで、わが東京鶴翔同窓会の登場です。おかげさまで、総会にお顔を見せて下さる会員が徐々に増えてきて嬉しい限りです。年々若い会員も多くなってきました。若い方はともすると同窓会を敬遠しがちですが、昨年の総会に出席した若い女性が、「おそろのおそろ出席してみたら、とても楽しかった。出てよかった」というような感想を述べておられました。どうか一度、試しに出席してみてください。さて、同窓会の特徴は、同じ学

校を卒業した先輩から後輩までが一堂に会することです。その年令差は、最大六十才を超えるかもしれません。この特徴を生かささないでは勿体ないと思いませんか。懇親会で年令の近い人とばかり多く話していませんか。これからは、大先輩にうるさがるられるほど話しかけてください。あるいは、うんと若い後輩にうざつたいと思われるほど話しかけてください。一次会では先輩や後輩と話し、同期生とは二次会で話すべし」というような東京鶴翔同窓会条例でも作りたい気持ちです。

最後に嬉しいニュースをお知らせします。遂にわが東京鶴翔同窓会にもホームページができることになりました。総会の前には皆さまに見ていただけると思います。発達していくITを上手に取り入れながら、同窓会本来のぬくもりを皆さまと一緒に守り育てていくことができれば、こんな嬉しいこととはありません。

ね！

今年もお目にかかりましょう

<http://www.tokyokakushou.com>



庄内の歴史と民俗をたずねてー

財団法人 致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
TEL 0235-22-1199
<http://www7.ocn.ne.jp/~chido/>
E-mail : chido@axel.ocn.jp



午歳御縁年
月山・羽黒山・湯殿山

出羽三山神社

山形県東田川郡羽黒町手向7
電話 0235(62)2355(代)
FAX 0235(62)2352

斉藤 伸
取締役 (64回卒)



株式会社 ユウシン

本社 〒279-0026 千葉県浦安市弁天4-8-9
TEL/FAX.047-354-3840
東京営業所 〒135-0061 東京都江東区豊洲1-3-1-3205
TEL.03-3531-5121
携帯.090-1425-7272

東京商工会議所会員

グランドエル・サン

〒997-0801
山形県鶴岡市東原町17-7
TEL 0235 (24) 4633

アク・サン

〒997-0802
山形県鶴岡市伊勢原町9-22
TEL 0235 (29) 0033

早坂 剛(65回卒)

地域の皆様に配慮した新しい冠婚葬祭企業をめざしております

『IT時代に思う』

笹原 信一郎

鶴翔同窓会会長

(58回卒)

「ご承知の通り最近「デジタル・デバインド」という言葉がよく言われます。私も先輩のものにとつて社会生活をするに当たつてITに関する知識・能力によりデジタル社会での格差が発生している最近であります。

と思うとおそろしい限りです。東京都はじめ各都市ではご承知の通り、インターネット等のITに親しみこれを活用できるように基本技術習得のための講習会がそれぞれ各グレードに分けて展開されています。

東京鶴翔同窓会報の今回のテーマは「IT」ということですが六月にお集まりの若い会員諸兄姉にとつてはごくあたりまえのことと

私の住む豊島区では IT入門 IT基礎表計算入門 IT基礎ホームページ作成となつて対象は20才以上の区民で受講料無料(テキスト代千円程度)となつて大

考えられていると思います。しかし私にとつてITという全く別次元の世界のことで、今の世の中からとり残された旧世代のシラカンスだなどつくづく考え込んでしまう現状であります。

000人くらいの応募で1000人くらいの受講者数ですから猛烈な入学試験と同じです。私も参入できるかどうか、ついていけるかどうか判らないですが、あたりから恥ずかしながらトライし何とかIT社会へぶらさがつていこうと思



間のアナログからデジタルへの変換のスピードはすさまじいものだったので、これも急速な半導体の発達のお蔭

私的な話で誠に恐縮ですが先日小二の孫とお店屋さんごっこをして遊びました。孫は電卓、私は算盤というD/Aの対決でした。孫

よくこの約50年間もぼうつとしたアバウト・アナログ型人間で来たものと思つています。逆に言うところの20年

昭和二十一年頃アメリカ人による電気計算機(メカ式)と日本人による算盤が計算試合をやつて確か、わり算以外は算盤が勝つた昔を思い出すこの頃であります。

の電卓の正確なこと(あたりまえ)とオペレーションの正確なことに兜をぬいだ次第です。

幼い頃から慣れ親しんでいるのでしょうがキータッチが早くて正確なこと、マニュアルをよみとることに習熟していることなどびつくりしてしまつことが多かつたのです。

ITのひろがり世界経済社会に及ぼす影響は20世紀の初頭に自動車の出現と似た社会現象とも言えると思います。事実世の中を変えたことは相似しています。

ITのひろがり速い大衆的メカ技術ではなく、すそ野の広いエレクトロニクス技術であり、社会に与える影響とひろがりのスケールが違うのではないかと思ひます。モーターリゼーションが20世紀を変えた以上に、ITは21世紀の社会を徹底的に変換させるモメントになることでしょう。

昭和二十一年頃アメリカ人による電気計算機(メカ式)と日本人による算盤が計算試合をやつて確か、わり算以外は算盤が勝つた昔を思い出すこの頃であります。



<p>山形県 善寶寺 鶴岡市大字下川</p> <p>就職 斎藤信義(昭12卒) TEL 鶴岡(0235)33-3303(代表)</p>	<p>1人1部屋、各部屋冷暖房完備・電話配線施行済 部屋代月1万円庄内地方上京学生の寄宿寮として105年。 《入館照会受付中》</p> <p>財団法人 荘内館 館長 菅原良雄 (57回) 〒114-0015 東京都北区中里3-7-7 TEL & FAX 03-3949-2646</p>
<p>手打ち蕎麦 炭火焼料理</p> <p>大松屋</p> <p>大松屋 本店 TEL.03(3571)7053 大松屋 蔵 TEL.03(3574)4200 大松屋 樺 TEL.03(3571)8588</p>	<p>湯野浜温泉に泊まって『運転免許』を…</p> <p>鶴岡自動車学園</p> <p>〒997-0045 山形県鶴岡市西新斎町6-34 代表取締役 齋藤征士(昭和37年) TEL.0235-22-6200(代) http://www1.ocn.ne.jp/~tsuruoka/ E-mail:tsurums@poplar.ocn.ne.jp</p>

『IT雑感』

佐藤 英治
鶴岡南高等学校校長

近年、三月から四月初めにかけて鶴岡の致道博物館、風間家旧邸（丙申堂）、荘内神社、酒田の本間家旧邸、相馬樓などでお雛祭りがブームになっている。雛の多くは庄内の殿様や豪商等に長く引き継がれた豪華な享保雛、古今雛、有職雛などである。江戸時代、北前船が京都や江戸から帰り荷として運んできた。雛が作られた時代によって内裏様の顔立ちや雰囲気がい異なり、観ていて心安らぐ。この時代、情報も通信も途絶されたこの地域にとつて、命がけて運ばれたお雛様は何より貴重で、上方の唯一の情報でもあったのだらう。現代の溢れるような情報化時代とどちらが心豊かで幸せなのだろうかと思ってしまう。



個人的にはパソコンやIT機器に対するアレルギーは

幸いにも昔から少なかった。パソコンやワープロは20年来使ってきたし、eメール、携帯電話、電子

辞書、最近ではデジカメなど、便利と思うと直ぐ手が出てしまう。最近ではデジカメに凝っている。そのきっかけは、80年代に入学試験の電算化したことであつた。当時、某社のPC N8801という8ビット機を使い、大きな外付けフロッピーデスクをつたの1メガを使用した。ベーシック言語でプログラムを組み、入試作業時間が8分の1に短縮することができた。それに喜んだ。大昔の話である。その後も「習うより、慣れる」と面白半分で現在までさまざまな機種を使ってきた。ウインドウスの出現でビックリし、スタンドアロンの便利な器械が通信ネットワーク機能を持つに及んで、これは大変なことになると思った。95年、初めてインターネットを体験したとき世の中やがて大きく変わると確信したことを鮮明に覚えている。88年アメリカの教育視察をしたとき、小・中・高校に1人1台の割合で既にコンピュータが導入され教育がなされていたのに驚いた。当時日本では職業高校に導入はさ

れていたが小・中・普通高校はほとんど導入されていなかった。五年以上は遅れていた。近年ようやく政府も重い腰をあげ2000年に「IT国家基本戦略」2001年には「IT基本法」、「e Japan 戦略」、「e Japan 重点計画」施行、策定と本格的な取り組みの一步を踏み出している。今後は急速に、電子政府・電子自治体や電子商取引など多方面でIT化の推進が図られるだろう。この取り組みも後手、後手であつたように思う。素人から見れば高速大容量の光通信幹線網を早期に全国に敷設してさえおけば、韓国や米国などに比し今日ほどの遅れはなかつたろうと思う。やはり五年は遅れたのだらう。IT国家の実現に向けて教育の果たす役割も非常に大切なので力を入れていかねばならないと考えている。いま山田洋次監督が鶴岡で藤沢周平の『たそがれ清兵衛』の映画化に取り組んでいる。今秋にも公開の予定と言つた。監督は「鶴岡には、いま日本の城下町が失つた人間関係や人情が昔の形で残っている。町並みはずつかり変つたが、古い時代の人々の挨拶、表情から立ち上る『形』でない人と人の繋がりが身体を包んでくれる」と語

池田法律税務事務所

弁護士 池田 博 (74回)
鶴岡市本町三丁目2番3号
TEL 0235(25)8810・FAX 0235(25)8811

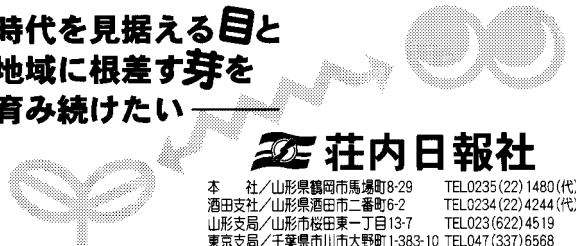
加藤法律事務所

弁護士 加藤 次郎 (62回)
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号
新橋駅前ビル1号館6階604号室
TEL 03(5537)5501~5502
FAX 03(5537)5503

山口法律事務所

弁護士 山口 新一 (76回)
〒997-0044 山形県鶴岡市新海町17番68号
TEL 0235-25-9799
FAX 0235-25-9796

時代を見据える目と
地域に根差す芽を
育み続けたい



荘内日報社

本社/山形県鶴岡市馬場町8-29 TEL0235(22)1480(代)
酒田支社/山形県酒田市二番町6-2 TEL0234(22)4244(代)
山形支局/山形市桜田東一丁目13-7 TEL023(622)4519
東京支局/千葉県市川市大野町1-383-10 TEL047(337)6568

つている。
近代工業社会の進展、IT社会の推進の中で霞んでしまいそうな優しい人間と人間の関わり、豊かな人間と自然の関わりが鶴岡には

まだある。IT化社会が進展しても、あくまでも「ITは便利なツール」であるとの認識を忘れずに鶴岡の大切な心を守っていききたいものである。

「どうが

皆で「つて」してください」

第32回東京鶴翔同窓会実行委員長
小花 吉彦

(64回卒)

早いものでまた幹事年がやってきました。去年の十月第一回の幹事会の折り、さて、テーマは何にしようか、考えられることはいろいろ出尽くしたし...等々話し合っ

なりました。というのも、他校のホームページを見ると、若い世代が活発に掲示板などを利用し活用しているからです。

どうか」という意見が出されました。
IT不況の文字を新聞紙上で見

は費用もたいしたことではないのですが、業者に依頼するとメンテナンスを含めて結構金額がかさみます。東京鶴翔同窓会では負担し

ない日はない今日この頃ですが、パソコン・携帯電話でのメールの利用は増え続けています。特に携帯電話でのメールのやりとりは時間、場所を問わず若い世代の利用は目を見張るばかりです。

す。東京鶴翔同窓会では負担しかねるのではないかと考え、鶴岡の本部で開設してもらえないものかとの意見が出ました。まずは、桜井会長に相談することにしました。会長曰く、「前にも本部に相談した

そこで「IT」と「会いたい」を引っかけ第32回のテーマを「こはえちやITのー」とすることに決定しました。

が、あっさり断られたことがある」とのお話です。

そして、このテーマにふさわしく何とかホームページを立ち上げることが出来ないか、という話に

誰かがボランティアでやってくれないかなあと諦めきれずにいたところ、東京鶴翔同窓会の役員会



第32回東京鶴翔同窓会実行委員長
小花 吉彦

でもホームページの件を議題にすることにしました。そこで相談した結果、地主事務局長の同期である太田良弘氏に協力していただけることになりました。太田氏はご自分でもホームページ(本誌15頁参照)を作成し、しかも山形県のホームページコンテストに入賞された経歴のある方です。また、費用の方は初期費用を含めても、東京鶴翔同窓会で負担できる範囲で収まりそうだというので、事務局の了承を得る事が出来ました。この会報を発送する頃には晴れて東京鶴翔同窓会のホームページが開設されております。とかく同窓会を敬遠しがちな若い世代に限らず、ITの進化と共に高齢者にもキーにふれてもらい、ホームページを通じて交流を深めることで、年に一回の総会に足を運ぶ機会も多くなるのではと期待しています。今回のテーマ「こはえちやITのー」は、とかく機械的になりがちデジタル時代になっても顔と顔を会わして、酒を酌み交わし語り合うことに意義があると思うんです。

是非とも、東京鶴翔同窓会総会に足を運んでいただき、会を盛り上げてもらいたいものと心より願っております。

耳鼻咽喉科

早川 医院

早川 浩市 (64回卒)

〒242-0015 神奈川県大和市下和田98
TEL 046 269 4037 FAX 046 269 4701

胃腸科・外科・眼科・放射線科

冠 木 医 院

院長 冠木徹彦 副院長 冠木敦子 (68回卒)

〒360-0815 埼玉県熊谷市本石1-128(一番街)
048-521-1106

同窓会誌・自分誌等印刷承ります

つるいん
鶴岡印刷株式会社

本社 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町14-24
TEL.0235(22)3080(代) FAX.0235(24)8698
http://www.turuin.co.jp
E-mail:soumubu@turuin.co.jp
E-mail:seigyoubu@turuin.co.jp
〒998-0859 山形県酒田市大町6-16大装ビル1F
TEL.0234(22)4833(代) FAX.0234(22)4834

自由が丘銀座歯科

- ・歯科全般
- ・小児歯科
- ・矯正歯科
- ・審美歯科
- ・インプラント歯科
- ・ハリ治療

・急患の際は夜間診療11:00~1:00可能(ただちにお電話下さい)
・インプラント無料相談、検診あり
・その他お気軽に相談承ります

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘1-24-3
診療所 Tel:03-3723-8011
携 帯 090-7704-2372

今野 成孝 (71回卒)

『新世紀の鶴岡 頑張っています』

鶴岡市長
富塚 陽一
(57回卒)

このところすっかりご無沙汰をいたしており、お申し付けのテーマ「こぼえちやI.Tの」(会いてえの)はなかなかかびつたりと感じ、共感させられています。改めて、東京鶴翔同窓会の皆様こんにちは。何時も何かと温かいお心をかけて下さり、誠にありがとうございます。

さて、このテーマで自分なりの所見を述べよと言われても無理ですが、最近になって見聞したI.T関係の話題を拾って見ることにしましょう。

何はともあれ最初にPRしたいのは、鶴岡公園の、通称「百間濠」にできた「慶応義塾大学・先端生命科学研究所」です。これは、膨大な細胞(人の細胞は60兆個だとか)の分子をコンピューターでとらえ、その代謝のメカニズムを研究するなどして、高度医療法の研究を始めていますが、コンピューターを駆使して研究し



鶴岡市長
富塚 陽一

ているものとしては、国内では唯一の機関だそうです。いまやそれが世界的にも注目を浴びながら、活発に研究活動を続けています。ついでにおまけの話の一つ。この研究所の所長は、慶大教授・富田勝さんですが、この富田先生がコンピューターの学問研究で師事したのは、慶大教授・中西正和博士

この中西教授は、鶴岡の一日市町にあつた中西薬局のご子息で、中学まで鶴岡で勉学をされた方だつたと、全く偶然の不思議なお話です。ただ、まことに残念なこと

に、中西教授は50歳代の若さで、一昨年他界されました。悔しいことですが、ここに何か不思議な導きがあつたのかも思い、改めて感謝の心を込めて、ご冥福をお祈りする次第です。

まあそんなわけで、鶴岡には、考えもしなかつたハイレベルの研究所が、若々しいエネルギーを漲らすように活動をしています。研究所には主任教授や助教授の方、研究員が何人かおられるほか、とくに慶大の大学院生や学部学生が

半年とか一年単位で派遣されてきています。それで、この機会に一杯の研究と楽しい体験をしようと言つたのでしよう、意気込みが違い、極めて活気が溢れているように思えます。今後、山大農学部や鶴岡高等学校も一緒に、相乗効果を発揮しながら、バイオ科学分野の中核拠点の一つとして、城下町・鶴岡の新しい象徴となつていくと期待しています。ついでに、折に、どうぞご視察下さい。

他方、I.Tの文明の進展に伴い、私たちは、この流れに逆らう地域主義的な思考にも拘ろうと考え、鶴岡ならでの文化的風土の見直し、再構築に努めたいと思つています。これに一脈通ずる宣伝を加えましょう。藤沢周平先生作『たそがれ清兵衛』が、山田洋次監督により、今年中に映画化されるのがそれです。

山田監督は、著名な俳優さんに、藤沢文学にある鶴岡の味わい深い民情、風土性を見せる好演技をして貰おうと意欲を燃やしておられます。

「エー」期待」と申し上げ、以上頑張っている鶴岡の空気の幾分なりともお伝え出来たのなら嬉しいです。

ホットな情報・四季の味覚の配達人

鶴岡江戸屋敷

鶴岡市東京事務所
〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7
TEL 03-5696-6821
FAX 03-5696-6822
E-mail:tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

しんきん、新鮮、刺激的。

鶴岡信用金庫

世界初! 飲めば**イビキ**が静かになる!!

イビキの悩みは **イビキノン** で解消!

特殊活性化技術により、通常のCoQ10より約8倍も高い吸収率になってはじめてイビキに効果が出たのです。

販売元 **バイオ薬品株式会社** 60カプセル(約1ヵ月分)5,000円・20カプセル2,000円
お求めは 0120-23-23-25

東京都千代田区内神田3-2-11

私が自信をもっておすすめします。鈴木啓五(64回卒)

在京鶴中第54回卒同期会一同

(株)新日本エージェンシー 奥野 明
ニューマックス(株) 渡部 敏雄
長谷川税務会計事務所 長谷川 久一

『言葉は消えても心は残る』 中里 欣一

「庄内日報社」論説委員

(54回卒)

鶴岡市の広報誌『つるおか』に、富塚陽一市長の「市長日記」が掲載されている。その中に、たまたま聞いたラジオ深夜便「心の時代」で、深く心に残った話として次のように紹介されている。

：方言での会話を大切に、しかもきちつと伝わっている品の良い方言で会話をし、引き継ぐという話。温かい心がこもり、深い思

いが伝わるのは上品な方言による会話だからできるという。これを聞いて、庄内弁のなかでも穏やかな鶴岡弁を思い、全く賛成でした。おっとりした気品のある鶴岡弁の会話、これも今世紀に引き継ぐ貴重な文化です。

市長日記のこの一節から、昔聞いた話を思い出した。昭和十年代、



ご主人の仕事の關係で鶴岡に初めて住むことになった人

が、雪に埋もれた街を歩いていて、狭い雪道で見知らぬ人とばったり出会った。譲り合わなければ

通れないから、二人は立ち止まってお互いに顔を見つめ合った。

するとマントを着た鶴岡の人が、ためらいなく道の傍らのホドワラ（雪の踏み固められていない所）に踏み込んで道を譲った。驚くと同時に、その思いやりに深く一礼して、婦人はなれない雪道を立ち去ったという。

初めての土地で迎えた雪国の生活の中で、行きずりの人の親切に深く感動した婦人はのちにこう述懐している。「来る前から鶴岡は人情の厚い町だと聞いていましたが、土地の人の優しさ、心の温かさを感じて思わず涙ぐみました。ほんのわずかな間住んだだけなのに、鶴岡は私にとつて終生忘れられない町となりました。」

六十年以上も前の何の変哲もないエピソード、その場に居合わせただけでもないのに、あたかも自分の体験のようにありありとその情景が目に見え

てくる。とすると、道を譲った人がはドワラに踏み込めばひざまで没する。とすると、道を譲った人がは

いていたのはワラで編んだフカグツ。だっただろうか。マントにくるまっていたとすれば頭はヤマオカ（冬、鶴岡の女性がかぶっていた頭巾）だったか。道を譲る時何と声をかけたのか……想像は果てしなくふくらむ。

古き良き鶴岡弁ならば多分、「どうがお先に」と言っただろう。共通語でいえば「どうぞお先に」だろうが、口で言うのと「どうがお先に」の方が、語調にも相手への思いやりが深くにじんでくる。方言の不思議な力、豊かさというものだろう。

IT時代の電子による情報にも、コミュニケーションの基本、送る・受けるの両面がある。双方の歯車がかみ合わない一方通行にコミュニケーションが生まれぬのは言葉の世界の話し手・聞き手の関係と同じだ。

リアルタイムで送受信すれば、用件は足りるが、意が通じて心が通うかは疑問だ。送る手段にいくら通じてても、送る言葉が貧困では情報までがやせ細る。人は顔を会わせれば笑顔が生まれ思い出がよみがえる、心通えばお国言葉も出てくる。

「久しぶりだのー」から何かが始まる。

東京鶴翔同窓会総会のご盛会をお祝い申し上げます。



株式会社 ホンマ 卓 株式会社

代表取締役 **本間 俊三**

〒228-0802 相模原市上鶴間1-12-1 TEL042-746-1616(代)
昭和38年 鶴工卒 中央大学(理) 温海出身
E-mail: thonma@mxg.mesh.ne.jp

祖父母から父母へ・・・そして孫へ

写真

ご家族の歴史を刻みお手伝い
確かな技術、プロが作ります

齋藤写真店 (62回卒)

東京・稲城市 TEL&FAX 042-377-8822

孟宗と梅林の里 湯田川温泉

日観連

たみや旅館

代表取締役社長 今野 悦郎 (66回)
常務取締役 今野 睦子 (71回 旧姓 沢井)
〒997-0752 鶴岡市大字湯田川乙15 TEL0235-35-3111(代)
FAX(0235)35-3116

株式会社 アイピーエス

代表取締役 小花 吉彦 (64回卒)

〒151-0064 東京都渋谷区上原3-25-9
TEL 03-3469-8211 FAX 03-3469-6361
E-mail: kohana@ips21.com

『私の携帯電話事始め』

鶴岡市東京事務所所長
佐藤 茂
(80回卒)

最近、電車に乗るとよく見かけるのが、うつむいて手元の携帯電話でメールを交換している女子高生の姿である。(この場合メールを送受信しているのは女子大生でも単に若者でももちろんいいですがね)

友達とコミュニケーションをとろうとする様子は少しほほ笑ましくも思えるが、送られてきたメールを見ながら、つるんで笑い声を上げたり、あるいは唇を曲げて一喜一憂している姿を、少々不気味ではないかと感じるのは私だけだろうか。

ところで初めて私が携帯電話を購入したのは、わりと早くて『紅花園体』が終わった次の年、平成五年の春だった。



決して自慢するわけではないが、当時携帯電話はまだ今話はまだ今

のように普及しておらず、全国でようやく加入者が百万人を突破した程度で、したがって持っている

人は周りにはほとんどいなかったように思う。

今こんなことを言ったら笑われるにされるだけだろうが、電話ボックス以外の場所から電話をかけることができることが素晴らしいと思える。初めに携帯電話に触れたその日に、衝動的に購入したのだった。

なお、その後庄内浜や月山等の山間部からは、圏外のため、通じないことがわかって少しがっかりした記憶がある。

その頃、私は市役所の観光物産課に勤務していたが、携帯電話をもつようになった年の夏に『山形林間学校』というイベントの担当になった時のことだった。

鶴岡では、ウインドサーフィン入門塾みたいなコースを開催したのだが、その塾長として『あやし探検隊』から派遣されてきたのは、水中カメラマンの第一人者として知られていたN氏である。

イベントの二日目あたりに、N氏は突然、
「どなたか携帯電話を持っている

方はいませんか」

と、その場に居合わせたスタッフに向かつて尋ねたのだった。反射的に思わず私は、

「私が持ってますよ、どうぞ使ってください」

と言ってしまったのだった。

それに対してN氏は、本当に良かった、助かったという表情で、「悪いね、じゃあ遠慮なく使わせて



もらうよ」

と言ったまま、携帯電話から三十分くらい手を離さず、口述で原稿を東京に送り続けるのであった。N氏は日に焼けた精悍な顔つきを崩さず、黙々と携帯電話を手に持ちしやべり続け、電話をかけ終えた後に、

「やあ、ありがとう助かったよ」と一言だけ言って、再び若者たちの輪の中に戻っていったのだった。

十円で三分間しゃべれる電話とは違うんですけど...
と、心の中で後悔してみても後の祭り。

最初はそんな失敗？もあった。

「大山の地酒」発送承ります

オオクニヤ
有限会社 **大国屋**
代表取締役 **大滝 義雄** (64回卒)

鶴岡市大山2丁目23-13 TEL 0235-33-2061
FAX 0235-33-1223

酒造資料館あります
映画上映・試飲コーナーなど

酒王 **初孫**

東北醸造株式会社

酒田市大字十里塚字村東山125番地の3
TEL 0234(31)1515 FAX 0234(31)5588
URL <http://hatsumago.co.jp>

笹原事務所

社会保険労務士 **笹原 恒弥** (58回)

〒132-0024 東京都江戸川区一之江6-5-8
TEL 03-3654-6617
FAX 03-3656-8667



会 長 **佐藤 勇三**
(昭14-47回)

田村町店 二丁目大村ビル 電話3580-0826
新橋店 上ービル地下 電話3580-6693
銀座店 服部和光裏 電話3567-3355-7
日本橋店 ツムラビル地下 電話3275-2486
喫茶モン ツムラビル2F 電話3275-1697

『鶴岡市のホームページ』

鶴岡市総務部情報統計課
長谷川 幸吉

(87回卒)

鶴岡市では平成六年頃から国立鶴岡工業高等専門学校のご指導をいただき、インターネットの勉強を始めました。

アクセスポイントも比較的早く市内に設置されましたので、少しでも早く地域のインターネットを引つ張っていこうと言つことで、平成八年八月にホームページを開設しました。

<http://www.city.tsuruoka.yamagata.jp>

当初のインターネットによる情報発信の考え方は、行政として市民への情報の提供を職員の手でホームページを作成する事によって実践し、電子メールやホームページを利用した市民とのコミュニケーションの道具としても活用しようというものでした。



現在では、アクセス数もピーク時で月5万件弱になり、インターネットによる情報提供が

本物になりつつあるようです。交流掲示板『みゆき橋』は市民や鶴岡ファンの方どうしの交流場

示板です。季節や場所、食べ物や祭りの話題などで賑わっており、固いイメージの自治体のホームページに、和やかな雰囲気を出していただいています。この掲示板を通して市民や鶴岡ファンの方々の交流の輪が広がっているようです。市役所内では各課の職員が独自に作成したり、外注したりしてホームページを整備しています。また、各種統計表についても、MSエクセルで作成し、インターネットに掲載しています。現在の情報量はHTML・エクセル・PDF合わせて5600文書にもなり、整理が大変な状況です。これらのデータは「全文検索エンジン」によって、検索ができるようになつており、データの中に使用されているすべての言葉を検索のキーワードとすることが出来ます。インターネットは更新が大事とよく言われますが、イベントの紹介等がタイムリーに行なわれるのは当然として、目新しさではなく、行政の中で生み出される市民にと

つて有益な情報を、間を置かずに蓄積し公開できる事や、災害・緊急時に迅速な対応が出来ることなどが大事だと考えています。

また、鶴岡で育まれてきた歴史や文化に関する情報は、「ふるさと」としての鶴岡の永久的な情報として、充実させていきたいと思

います。平成十三年六月には、駅前マリカにネットワークコミュニケーションセンターを開設いたしました。今後ここを拠点にして、鶴岡市民の情報化を進める事業が展開される予定です。

デジタルデバイドの解消や、施策への市民のご意見の反映、非常勤団体への支援など、ITをフルに活用して便利・愉快・感動・活力の醸成ができたらずばらしいなと夢見ているところです。

そして市役所では、小さなインターネットサーバの中に市役所を詰め込んでガラス張りにし、市民から見通せる市役所になる事が最終的な目的地と考えています。

首都圏にお住まいの皆様からの情報やご意見などは非寄せせていただければ幸いです。



いつも もっと おいしい日本酒へと

SINCE 1778



栄光富士

富士酒造株式会社
〒997-1124 山形県鶴岡市大山3-32-48
TEL 0235-33-3200 FAX 0235-33-0477
E-mail : fuji3200@eos.ocn.ne.jp

かけがえのない水
英知と技術でリサイクル



東北環境開発株式会社

取締役社長 木村 有為
専務取締役 泉 川智

本社 / 鶴岡市字下清水字打越2・1 (0235)24-3110(代)

内科 胃腸科 小児科

佐藤 医院

院長 佐藤 一夫(昭和40年)

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西1-4-16
TEL 03-3688-7460 FAX 03-3688-7419

川崎市議会議員 副議長

菅原 敬子 (62回)

事務所 / 〒215-0027 川崎市麻生区岡上410-3-408
電話・Fax 042-734-3553
自宅 / 〒215-0027 川崎市麻生区岡上120-4
電話・Fax 044-988-5032



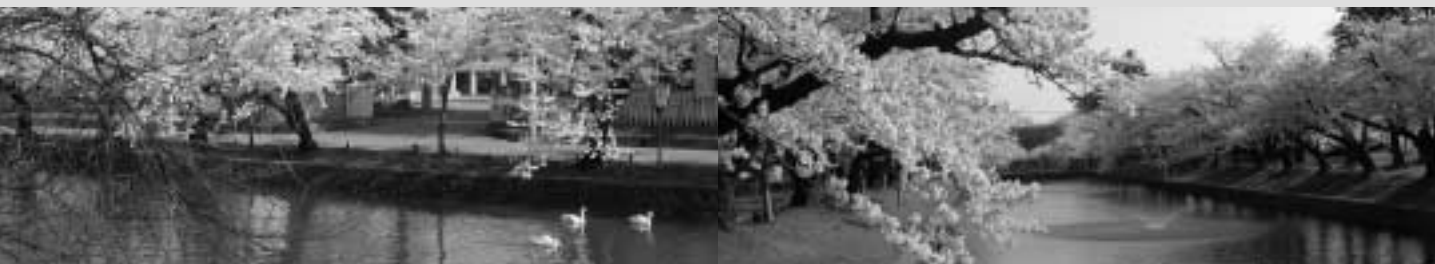
飛べ!!

平成13年6月16日

於 帝国ホテル



新しい世紀の幕開けに
 友よ集おう
 声高らかに
 校歌を歌おう
 緑濃い日比谷の森を望む会場で…





第31回総会
翔べ 跳べ



「ネット移住……」

デジババちゃん 関谷 路子

(64回卒)

真夏のように暑かった昨年六月のはじめ、娘一家の住んでいる地域の不動産業者に近くに物件があるか依頼、すぐに3件ほど案内してもらったが、いずれも中途半端な距離にあり道路付けも悪いというので、疲れ果てて娘の家へたどり着いた。

私どもには娘一人。二十数年住んだ鎌倉から娘一家の近くに住まいを移す時期が来たかな、と思っただのは一昨年春、私が退職した時である。娘が結婚した時から、おぼろげにそうせざるを得ないかという思いはあったが、数年前東京で独り暮らしの私の母を鎌倉の病院に入院させることになった時、ほぼ決心がついていたと思う。

ある程度、健康で気力も十分あってつても子供にとつても快適ではあるが、いざコトが起きた時、まして体調不良の時は近ければ近いほどお互いに甘えやすいし甘えさせやすい、心の負担も一つ軽くなる。こちらの体力、知力がいささかでも並みのあいだに引越しを実行

することになったという訳である。「負った子におしえられも、今やこちらは教えられてもついてゆけずという有様になりつつあるが、さてさて、どうなるか。」

その負った娘が、やあらインターネットで検索を始めた。

すぐさま膨大な物件が目の前に出現、当方の条件に合うものが見つけられた。古家ではあるがすぐ近くらしいということを取り扱った業者にお問い合わせしたところ、何と娘の家から徒歩二、三分のところであった。

この間わずか一時間弱、身体を動かさずに情報に入る速さと量に目からウロコの剥がれつばなし。やはりIT時代なのだ痛感、いやむしる感激と言ったほうがいいか。もちろん翌日契約。

次の課題は引越し業者の選択。これも当然ネットで検索。現住所から目的地・家財の種類・数量、返信はメールのみにて電話は禁止その他条件を入力して待つこと暫し。二、三日間に二十社近くからアクセスがあった。これが「文章

は社を表す」というか、よく言えば個性的(?)。自宅に電話連絡をしてくる業者も少なからずあつて、またそういう業者に限って送られてきたメールが、こちらからの条件に対して見事に反比例していたこともあり、選択基準としての見積もりを数社に絞ってお願ひするという作業は思っていたより容易であった。

料金の平均価格も凡そ判り予算を組む上で信頼のおける情報でもあった。結局、物件探しから引越しまで一カ月半という短期間で完了したことになるが、最終的な決定はお互いの条件に合うモノの良さということ、引越し業者の選択について言えば「人」ということである。自社の商品に対する熱意とか査定の正確さ、説明能力、加えて私どもが依頼した業者は梱包資材を車に積んで見積もりに廻っているということもあり、資材の質も確認できるし、サービス面も即決定できるというIT時代にふさわしい迅速な対応の社であり、人物であったということである。高速時代においても、最後は人と人とのふれあいが大事なことを再認識できたネット移住であった。

「6月15日にI・Tの〜」



加藤嘉八郎酒造株式会社
〒997-1124 山形県鶴岡市大山三丁目1-38 TEL 0235(33)2008

旬の味・家庭料理の店



小田 幸子
鶴岡市本町1-6-32 (川端通り、木根測医院隣)
TEL: 0235-25-3688 定休日: 日曜・祝祭日

鶴岡へ帰ったとき必ず立ち寄るお店です 桜井喜久恵 (63回卒)

山形庄内名産 民田茄子 からし漬 元祖 赤かぶ漬 あつみ

「一四〇年の歴史を伝える昔ながらの味 庄内の味をお届けします」

TEL: 0235-24-1180 FAX: 0235-23-3564 http://www.satoku.co.jp

〒997-0011 山形県鶴岡市宝田2丁目9-79

監視用超小型ビデオカメラのパイオニア

銀行、スーパーなど、お店の防犯に最適。駐車場等監視の夜間撮影に適したカメラも好評中。

代表取締役 五十嵐 重美 (61回)

Watec ワテック株式会社

本社 / 鶴岡市大字大宝寺字日本国254-2 (0235) 23-4400
山形工場 (東根市) 0237-43-6530(代) 台湾支社 (台北市) 02-2523-5906

『パソコン購入宣言』

工藤 国捷

虫の会会長

(64回卒)

世界の歴史上IT革命は世の中の仕組を大きく変えたことは産業革命以来の出来事といわれております。

いまや瞬時にあらゆる情報が世界を駆け巡り、インターネットやメールなどのITを活用して企業間取引、ユーザーの情報収集、商品購入、行政手続の利用等々、何んでもITです。

これからの時代は企業も個人もITを活用することが不可欠なようです。昨今のメディアでもIT用語が頻繁に出てきます。知らぬ存せぬチンプンカンプンでは通されません。

いささか大袈裟な言い方をすれば、企業も個人もITに無関係では生き残れないのです。



国の政策としても全ての人が身近なものにするべく無

料講習会もあり、既に小学校の授業に取り入れているところもあります。

会員の皆様の中には、講習を受けた方も、またIT関連企業で仕事をされており十分に堪能な方もおられます。

人気作家の村上龍さんはIT活用の最たる方といわれ、一日六時間はパソコンに向かうというヘビーユーザーですが、ITは特別なものではなく日常的な普通なものになってゆく。自分の道具として活用できる人だけがその果実を得る。」と語っております。

一方、清貧の思想の作家中野孝次さんは、今の世の中には波長の合わぬ事が多く死んだってワープ口なんか使うものか、パソコンや携帯電話とは無関係で通ず、時代遅れだと馬鹿にする人もいるが、そういう自分を少しも時代遅れと思わず、むしろ間違っているのは世間の方だと開き直っている。と老年の愉しみというエッセイに書いております。

私はというと年齢が近いだけ中野派ですが、それほどアレルギーではありません。とは言っても携帯電話は持っています。メールは使

使っていませんし、パソコンもデジタルメモも持っていません。携帯とて、その機能を十分に使いこなしているわけはありません。連絡用に持っているだけの感じは否めません。

今回、この企画でかなり刺激されたことは事実で今年中にパソコンを購入しよう。(公表すれば実行せざる得ません。)

話は唐突に変わりますが、私達は昨年ムシナシヤシの会を立ち上げました(?)。

今年の東京鶴翔会総会は4のつく卒業回生すなわち54、64、74、84、94回生が担当しております。

中でも中心になってるのが、64、74、84回生です。ムシナシヤシと読んで下さい。昨年十一月の、と或る日前哨戦と称して三期合同の会を開催致しました。結果は企画した幹事の期待に反して出席者は以外に少なく企画倒れの感がありました。それが、それなりの意義はあったと思っております。

64回生は毎年『虫の会』として集う機会を作ってお互いの元気を確認しています。昨年の会は後輩が加わったせい、ムシのお兄さん、お姉さん達が今迄になくハッスルして出席者の割りに盛り返りました。さすがに二次会は

郷土料理

「お昼食、ご用意しております。」



おばこ

大内 瞳 (酒田市出身)

東京都中央区銀座1-4-10
大内ビル(実業之日本並び)
電話 03-3561-6466

友と心なごむ一杯

清酒 奥羽白慢

榎引町 佐藤仁左衛門酒造場

祝 東京鶴翔同窓会総会

国際会議から各種ご宴会まで

社団法人 **日本海運倶楽部**

運営: パレスホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル
電話 (03) 3264-1825

編集から出版までのトータルプランナー

株式会社 **日本商業宣伝社**

日本総合出版(株)

佐藤 成生 (59期)

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町567番地
TEL 03 5287 5885 FAX 03 5287 5632

ムシの会のメンバーだけになりましたが、実に楽しいひと時でした。何の会でも出席者が多いに超したことはありませんが、中身が大事であることも実感致しました。

近年同窓会は縦の繋がりのない方が多く、横の繋がりの同期会やクラス会ならという若い

人達の話を目にします。正直のところ、私自身も同感です。メールや出会い系サイトの活用も結構ですが、同窓の縁でお逢いして語り合うのも楽しいことだと思えます。ムシナシヤシの皆さんにもまたITの。

『ホームページの楽しみ』

HP「私の庄内物語」管理者
太田 良弘
(70回卒)

ホームページの楽しみの一つにメールがある。会ったことも、見たこともない方からメールをもらうことは、なにか突然思いがけない人からラブレターをもらうようなうれしさがある。仕事のメールであればうれしいどころか、迷惑なことが多く(実際、毎日メールの嵐で仕事がちっとも進まない!)、うんざりしてしまうのだが、自分のホームページのこととなると、

は年輩の方で、懐かしいとか、こんな庄内弁を知っているか、といった感想や投稿が多いのだが、中には、卒論に庄内弁を取り上げたのでアドバイスを、といったお手軽女子大生や(なんとこれまで3件もあった)、庄内平野の米作りについて教えてください、といった小学生からのメールなど、変わったメールも舞い込んでくる。小学生の質問は結構厳しく、調べないと返事を出せないというこ



ついで、長い返事を書いたりしてしまつ。私のホームページは庄内弁をテーマにしていることもあって、メールをくれる方は庄内の方が多し。たいがい

<http://www.ne.jp/asahi/ohta/shonai>

とも度々あって、面倒だな、とも思うのだが、せっかく私のホームページを見てメールをくれたのに、返事を出さないのはやはり気が引ける。というわけで、自分では調べもしないで、何でもインターネットで聞いてしまおうという、小

学生の罫にまんまと引っ掛かって貴重な時間を費やしてしまう。しかし、どんなに忙しくても知らない人からのメールを読み、返事を出すことは、ワクワク、ドキドキするものなのだ。(まるでラブレターを書く時のようにね)

最近、メール暴力とかメール公害がいわれるようになり、事実、ウイルスを送りつけてくるメールや、しつこい広告にうんざりさせられるのだが、私のホームページにくるメールは、みんな真面目で、何かを伝えてくれる。どこかで相手に共感していても、面と向かつては気恥ずかしくて言えないことが、メールであれば言えるということもある。しかも、知らない人だからよけい、本音で語れる。メールは使い方で悪にもなり、自分を伝える強力な武器にもなるのだ。

4年前のホームページ立ち上げ当初から、励ましてくれた神戸の「鶴甲」さん。そして鶴岡市役所の「コウチャン」。60の手習いでホームページを始め大阪の「残日録」さん。庄内の祭りを撮り続ける酒田の「武田」さん。ナイーブで多感な愛媛の「hanayasu」さん……。数え上げればきりが無い人たち。みんなホームページで知り合い、メールで友だちになった、魅力的

こり うまさけ
古里の美酒

羽黒町 竹の露合資会社

コンバージョンビジネスのバイオンア
不動産業務全般

FIT Real Estate

フィットリアルエステート株式会社

代表取締役 中 塚 守
部長 佐藤 憲 (74回卒)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル
Tel.03-3357-2461 Fax.03-3357-2460

坂元税務会計事務所

税理士 坂元 鐵平 (62回)

事務所 〒228-0011 神奈川県座間市相武台3丁目4721番地13
三協相武台駅前ハイツ207号
電話 046(253)6049(代) FAX 046(256)7594
自宅 〒228-0012 神奈川県座間市広野台1-3-12
電話 046(255)2051

株式会社 遠藤会計事務所

代表取締役所長
税理士 遠藤 研一 (76回卒)

事務所 〒997-0042 山形県鶴岡市新形町21番20号
電話 0235-22-2884(代表)
FAX 0235-24-3846

でかけがえのない人たち。まだ一度も会ったことがないのに、それでも一生の友だちのように思える。なぜなら、本音ですつと語り合ってきたから。

メールが取り持つ「人との出会い」、私にとつてホームページの楽しさはそこに尽きるように思われる。

『級友探しのホームページ』

佐藤 恵一

(74回卒)

H.P.「南校3年2組S42年卒」管理人

私も42年度卒2組のクラス会
は、他のクラスの連中が呆れるほど頻繁に行っておりまして、最近ではかみさん達にまで「またクラス会なの？この前やつたばかりでね？」と呆れられている始末です。地元組は幸か不幸か殆どが長男で、どちらかと言うと我が俣タイプが多いのですが、クラス会のことになると何故か結束が良く、何かの理由を見つけては集まって飲んでいような次第です。

新年会に始まり、鱈汁会、花見会、孟宗汁の会、恒例のお盆の大きなクラス会、秋には芋煮会、暮の忘年会……
そしてこれ



秋には芋煮会、暮の忘年会……
そしてこれ

には、それぞれの会の打ち合わせと反省会があるのですよ。
二ヶ月くらい何もないと誰彼と

無く、そろそろ集まろうかと声が掛かります。皆さんも呆れてしまいましたでしょうか？
そしてこれらの案内は、ほぼ全員にそれぞれで手分けをして電話したが、はがきなりで出しておりまして、どんなに手を尽くして捜しても三名の級友の所在が未だに分かっておりません。

四年前の十月に福島県の白河でレストランを経営している級友のお店で初めて地元以外でクラス会を行なった時に、東京から駆けつけ、卒業以来初めて顔を出してくれた二名の級友に逢えた時の感激は今でも忘れ難く、卒業四十周年(五年後)には、できれば全員でクラス会を開きたいと念願しております。

そういう訳で二年前の春、何とか不明の三名の所在を突き止めたかと思いきや、クラスのホームページ

を立ち上げました。
時代はまさにIT時代、これを使わない手は無いと思つては見たものの、さて何から始めたら良いものか全くの手探り状態からのスタートでして、ホームページの作成ソフトを買つたり、書籍を買い込んで読んだり、はたまたHTMLの使い方の講習会に何回か通つて漸くホームページを立ち上げるところまでは漕ぎ着ける事ができました。とは言え、現実には仕事に追われて時間が無い私には頻繁な更新などできるわけも無く、たまに暇な友達のを借りて更新作業をやつてもらつてるのが実情なのです。

<http://home4.highway.ne.jp/turunan/>

学級日誌と言う掲示板を置いているのですが、これが無料で使えるのは良いのですが、一定の期間利用がないと掲示板自体が削除されると言う時限爆弾みたいな代物なのです。
あまり訪れてくれる人も少なく誰かからの書き込みがあると、内容はともかくとしてそれだけで大変助かると思うのです。
皆様の中にも可哀相だから書いてやろうとボランティア精神溢れる方がおられましたら、何でも結構ですのでどうぞ書き込みをお願いしたいと思います。

を立ち上げました。
時代はまさにIT時代、これを使わない手は無いと思つては見たものの、さて何から始めたら良いものか全くの手探り状態からのスタートでして、ホームページの作成ソフトを買つたり、書籍を買い込んで読んだり、はたまたHTMLの使い方の講習会に何回か通つて漸くホームページを立ち上げるところまでは漕ぎ着ける事ができました。とは言え、現実には仕事に追われて時間が無い私には頻繁な更新などできるわけも無く、たまに暇な友達のを借りて更新作業をやつてもらつてるのが実情なのです。

総合建設コンサルタント 設計業・施工管理業・建設業・不動産業
IN 誠実・信用 これがわが社のモットーです
不動産仲介
 (社)全国宅地取引業保証協会会員
 東京都不動産協同組合員
 鶴岡市内・仲介物件多数有
アイ・エヌ・シー技術開発株式会社
 代表取締役 野沢良治
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-38-1-402
 電話(03)3983-3136(代) FAX(03)3985-0016
 ・鶴岡連絡所 電話(0235)23-1511

みちのくの旬の味
山 寒 さんさい
 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-3
 電話 03-3357-3031 FAX 03-3358-7944

東京尾浦会 (鶴岡市大山の首) (都圏在住者の会)
 尾浦とは昔、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた武藤氏の「尾浦城(大浦)」にちなむ大山の旧称です。
 会長・加藤 眞
 事務局・東京都板橋区小茂根1-1-6-303 田中方
 〒173-0037 TEL&FAX 03 3972 3705

寒河江法律事務所
 さがえ たかよし
 弁護士 寒河江 孝 允 (昭和38年)
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-7-2 TEL(03)3502-0882
 UBEビル5階(首相官邸南) FAX(03)3502-0880

こんなホームページではありませんが、去年の九月十一日のニューヨークテロの際には、在ニューヨークの同級生の消息が翌日には学級日誌に無事である旨の書き込みがあった時は、エーの威力を身近に感じさせられました。

さていよいよ本題ですが、ホームページの冒頭の黒板にも書いてありますが、三名の級友、伊藤幸信君、服部温成君、星野義広君の連絡先をご存知の方はご一報を頂

私のホームページ開設奮闘記

私達85回生の仲間がふとしたきっかけで、鶴翔塾という勉強会を始めたのが平成九年三月でした。その当時、私以外の仲間は当然のごとくパソコンを駆使し、メールのやり取りをしていました。一方、私といえば、パソコンを使えず、メールもできず、従来型の電話連絡に頼っていたものです。そんな私がホームページを作ることとなったきっかけは、家内の叱咤激励があったからなのです。私の家内は書道をやっています。実は、この二月に家内は銀座で生まれて初めて個展を行いました。

けますと大変有り難く、お礼に我がクラス会にご招待申し上げます。高校時代の三年間を同じクラスで過ごした間柄は白髪や、無髪になっても変わるものではありませんし、そろそろ現役を引退する年齢にも近付いて来ましたので、更に呆れられても仕方ないと覚悟の上で、できる限り数多く同級会を開きたいと考えておりますので在京の同級生の皆さん、宜しくお願

HP「スタジオ悠々居」管理者 清水 守

(85回卒)

その際、私のホームページを作ってほしい」というのです。家内は一年以上も前から密かに計画を練っていたようなのですが、突然のことです。めでたよとあわててしまいました。

昨年の七月、職場の定期異動があり、新しい職場での仕事の関係



から、ピカピカのパソコンを購入しました。その時、家

内は気前よくお金を出してくれました。決して安い買い物ではな

いので有効活用するのは私の努めではあったわけです。しかし、まさかホームページを作ることまで家内が考えていたとは、その時は思いもしませんでした。

私のホームページ作成作業が具

体化したのは、十一月頃です。例の鶴翔塾は、発足以来、着実に進化を遂げ、ホームページを開設していることは、東京鶴翔同窓会の皆様もご承知のことと思います。このホームページは、鶴翔塾事務局長大泉君の奥様が作成されたものです。奥様は、コンピュータ関係の仕事をされており、その道のスペシャリストです。そこで、私のホームページを作るにあたって、

奥様にご指導をお願いしたので、私がつかっているパソコンは、富士通FMVなのですが、その話をしたところ、アット・ホームページという会員ならば誰でも簡単に作れる方法を教えていただきました。さっそく開いて、サクサク作成君兄貴」というものを発見したので、しかし、そこからが大変でした。家内からは、「私の顔写真を入れて」とか、「個展の図録代わりにするから作品をきれいに載せて」とか、私にとって難しい注文が相次いだのです。そこで、年末にデジカメやスキャナーを買い

<http://plaza20.mbn.or.jp/> oizumi



産婦人科 小児科 三井病院

鶴岡市大字布目字中通75番6
[PAL北隣り]TEL 22-3290
診療時間 午前9:00~12:00 午後2:00~6:30
休診日 木・土曜日午後/日曜日・祝日
Eメール fsm01414@net.fsai.co.jp



世界中から良いものを
シーワグループ

スーパーマーケット

(株)主婦の店鶴岡店

取締役社長 大川 一郎 (59回卒)
本部・鶴岡市大字布目字中通39-2 TEL 0235 (22)2683
帰省の際のお買物は地元のスーパーマーケット主婦の店でぜひどうぞ。

社会人のための学校
先端情報カレッジ ネットワーク技術講座7月開講

理事 統括部門長 長江 和子 (70回卒)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-6 西新宿K-1ビル2F,5F
<http://www.sentan-college.jp/>
E-MAIL : nagae@sentan-college.jp
TEL (03) 3365-1620 FAX (03) 3365-1629

山中税務会計事務所

税理士 山中 昊吉 (61回)
社会保険労務士

東京都港区芝五丁目20番7-303号
(03) 3798-5895(代) FAX(03) 3798-5896

込み、作品撮影を行い、年明けには、ロケ地を浅草に移しての顔写真撮影、夜を徹しての編集作業と忙しい日々が続いたのです。

そして、遂に家内が命名した『スタジオ悠々居』なるホームページが個展開催直前に完成したのです。家内にとつても私にとつても記念すべき作品です。しかし、私

としては悠々とはいえないところもあつたのですが。

お蔭様で個展は大成功、ホームページも多くの方々にご覧いただき大好評でした(？)。特に、トップページの家内の顔写真は必見です。

びつくりしないでください。とにかく、一度、ご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/kei-shimizu/>

鶴南音楽部ホームページが製作されることになりました。

ホームページ開設後しばらくはいつものOBやたまにリンクをたどつて来る卒業生で賑わつていましたが、管理者が年経て部との交流が薄れていたり、遠く離れた関東にいたり、鶴南音楽部のホームページを名乗りながらも肝心の情報が集まらないという状態が続いて、単にOBがたわいのない話を交わす憩いの場としてのみ機能する倦怠期に入ります。

<http://www.geocities.jp/Hollywood/3841>

『鶴岡南高校音楽部 ホームページ』の概要紹介

HP「鶴岡南高校音楽部」管理者
上野 陽登
(100回卒)

まず背景として、鶴南音楽部は伝統的に現役部員とOBとのつながりが強く、卒業後十年経つても交流のある人がいたりします。一方ご存知のとおり、鶴南生は卒業後全国各地に散らばつてしまいますので、音楽部を気にかけるながらも遠く離れた地で寂しい想いをしているOBも沢山いるものと思われ

ます背景として、鶴南音楽部は伝統的に現役部員とOBとのつながりが強く、卒業後十年経つても交流のある人がいたりします。一方ご存知のとおり、鶴南生は卒業後全国各地に散らばつてしまいますので、音楽部を気にかけるながらも遠く離れた地で寂しい想いをしているOBも沢



そのような背景もあつてか、ある先輩が音楽部の交流

と情報交換の場としてメーリングリストを開設しました(メーリングリストとは、そのアドレス宛て

利用する者もあり、徐々に参加者を増やしていきま

その後、一般家庭にもインターネットが浸透するにつれ現役音楽部員も現れるようになり、たまたま訪れた方にお願

「仕訳の実際555例」(実業之日本社)12改訂版

公認会計士 榎本 堯 (63回)

〒180-0022 東京都武蔵野市境5-7-2-102
TEL 0422 52 2253 FAX0422 56 0730
<http://www.enomoto-cpa.musashino.tokyo.jp>

ふるさとに感謝しながら東京で44年...

Sign&Graphic
サイン&グラフィック
デザイン・企画・制作・施工

COMS
株式会社コムス

株式会社コムス 代表取締役 板垣正明 (66回卒)
東京都中央区京橋3-12-1エコー京橋ビル TEL 03 (3562) 5201 E-mail itagaki@coms.co.jp
AD-Communication Creators, COMS

祝 第32回東京鶴翔同窓会総会

実行委員会担当幹事年次

44回生・54回生・64回生・74回生・84回生・94回生・104回生

祝 東京鶴翔同窓会総会

第74回(昭和42年卒)3年6組一同

担任：高山文夫

阿部、青木.....松浦、吉川

平成13年 東京鶴翔同窓会収支決算書

(平成13年1月1日～12月31日)

一般会計 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	868,041	総会費	2,942,815
総会費	1,819,000	事務費	1,776,752
年会費	785,000	印刷費	973,140
広告収入	2,315,000	通信運搬費	639,524
雑収入等	160,159	雑品費	61,688
(祝い金)	160,000	旅費交通費	102,400
(預金利息)	159	会議費	223,009
特別会計繰入収入	0	広告費	81,000
		その他祝い金	90,000
合計	5,947,200	特別会計繰入支出	0
		次期繰越金	833,624
合計	5,947,200	合計	5,947,200

特別会計 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	3,082,438	一般会計支出	0
預金利息	3,853	次期繰越金	3,086,291
一般会計繰入	0	(普通預金)	1
		(定期預金)	3,086,290
合計	3,086,291	合計	3,086,291

鶴友会ゴルフコンペ

第五九回「鶴友会ゴルフコンペ」が昨年十一月七日、埼玉県高坂カントリー倶楽部にて開催され、成績は左記の通り。

- 優勝 佐久間正二氏(63回卒)
 二位 佐藤 良三氏(54回卒)
 三位 高山 弘氏(64回卒)
 四位 窪田 騰氏(58回卒)
 五位 佐藤 隆氏(65回卒)
- 次回、六〇回記念コンペを、本年五月十七日、日光カントリークラブで開催。参加ご希望の方は、東京鶴翔ホームペー
 ジ並びに左記にお申し込み下さい。
- 会長 奥野 明(54回卒)
 (株)新日本エージェンシー
 03 3496 4361
- 事務局 小花吉彦(64回卒)
 (株)アイピーエス
 03 3469 8211



平成13年11月7日 高坂カントリー倶楽部

祝 第32回 東京鶴翔同窓会総会

皆様のお出でを

お待ちいたしております

第三十二回東京鶴翔同窓会総会

実行委員会

委員長 小花 吉彦 (64)

副委員長 武田 昭蔵 (74)

広告部会 佐藤 憲 (74)

小谷 吉彦 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

青島 時子 (74)

64回 宣

開設なった鶴翔のホームペー
 ジの月山をみると、なぜか金
 峰山下の南山辺りが思い浮んで
 きます。花見も過ぎた後に山菜
 採りに行ったことなどなつかし
 くなります。そんな訳で、今住
 む埼玉の比企丘陵の林に入って
 みたりしますと、これが思いが
 けず豊かな自然なのです。才
 タ力が舞い、野兎や鼬の姿も見
 られます。蕨・ゼンマイ・ウル
 イ・アケビの若芽などになると
 小家族の食卓に彩りを添える程
 度には採れので、旬を賞味して
 ます。夏になるとホタルが群れ
 飛ぶ沢にはサワガニやトンボの
 ヤゴ、サンショウウオの幼生な
 ども見られます。小中学校が5
 日制になり「ゆとりある授業」
 といわれるわりにはどうも余裕
 がないようで、戸外で子供たち
 の元気な声がめつたに聞かせ
 ん。庄内の方に居る同級生たち
 にそんな話をすると、少子化が
 進む日本中どこもそんなもんだ
 とのこと、なんかおかしな事
 になっておるようだと思うこの頃
 です。来る六月十五日には、老
 齡化なんのその、大いに騒ぎ、
 なんとか景気回復の一助になり
 たいものと思つてるところ。